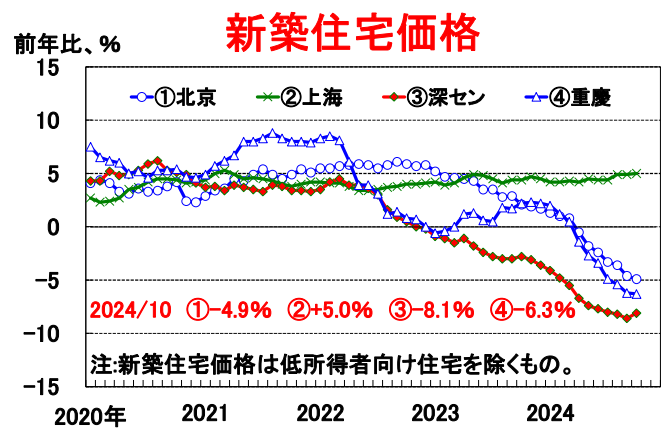
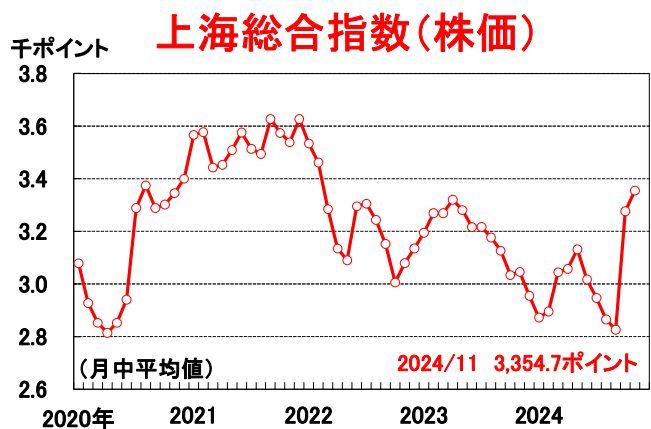
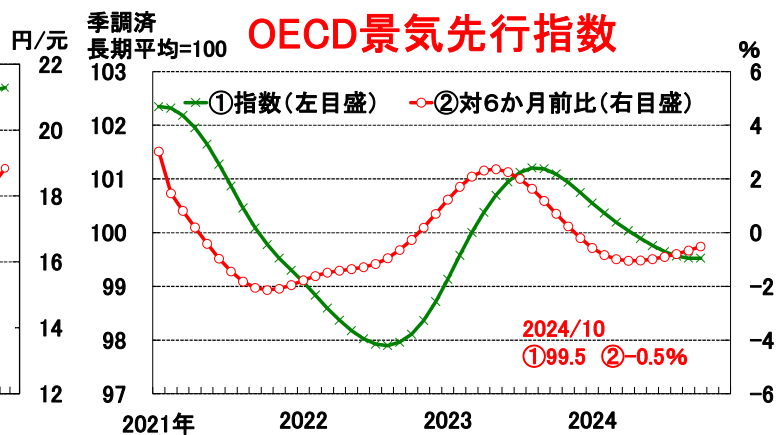
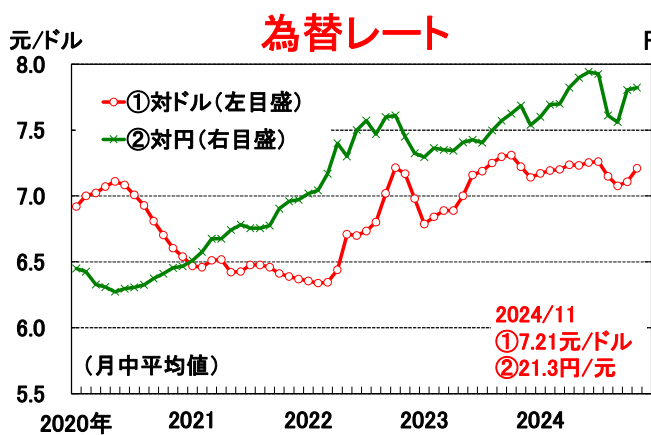
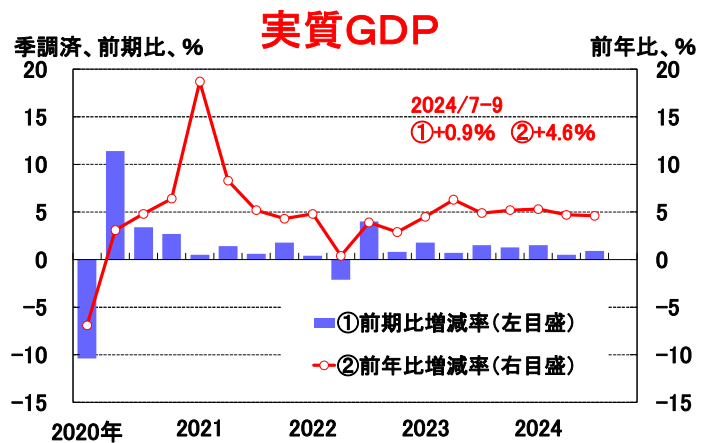
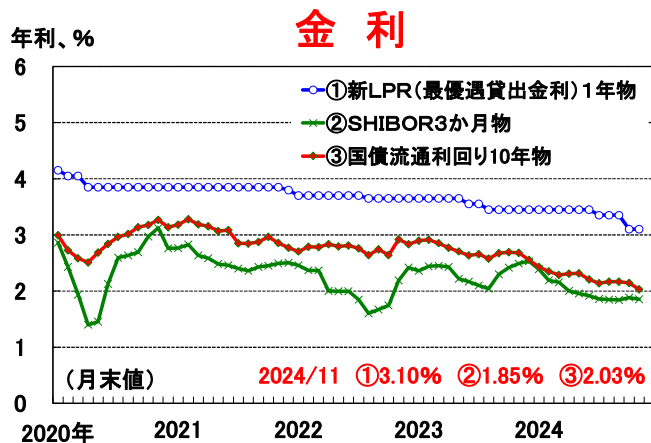
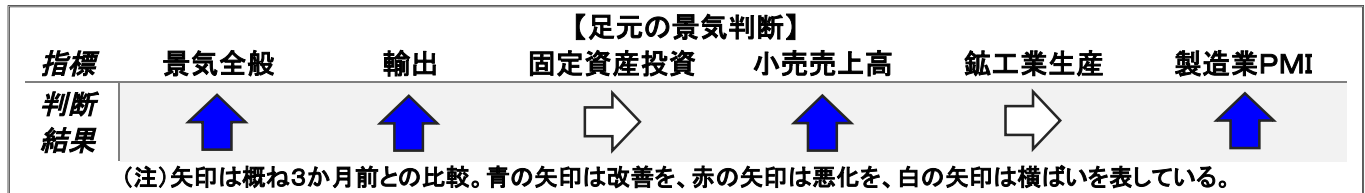


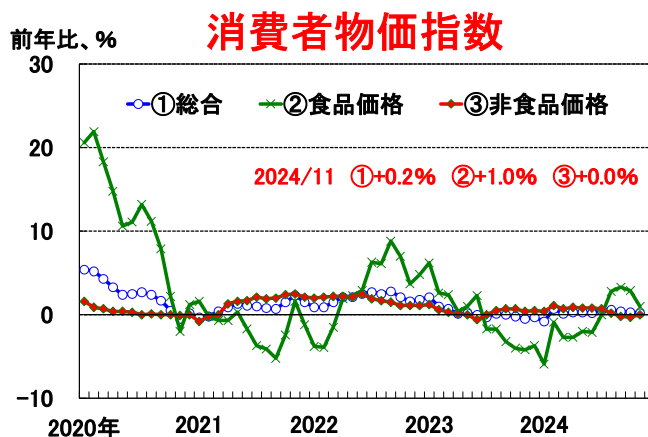
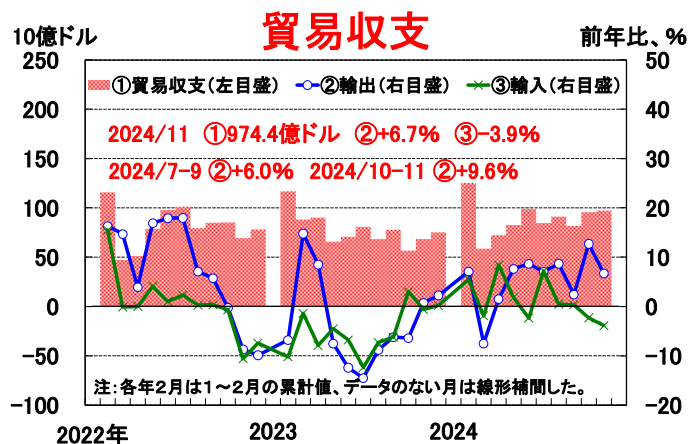
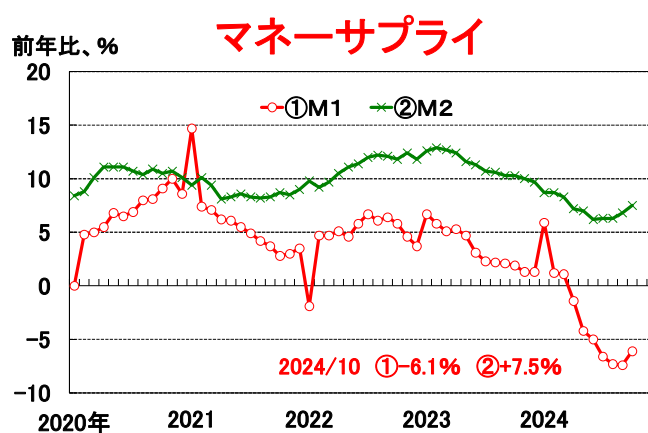
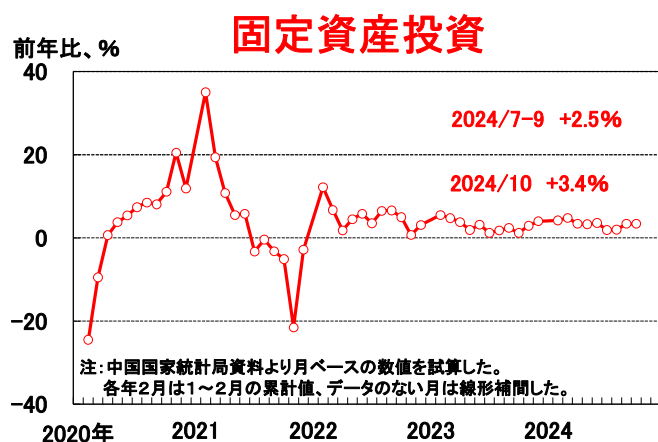
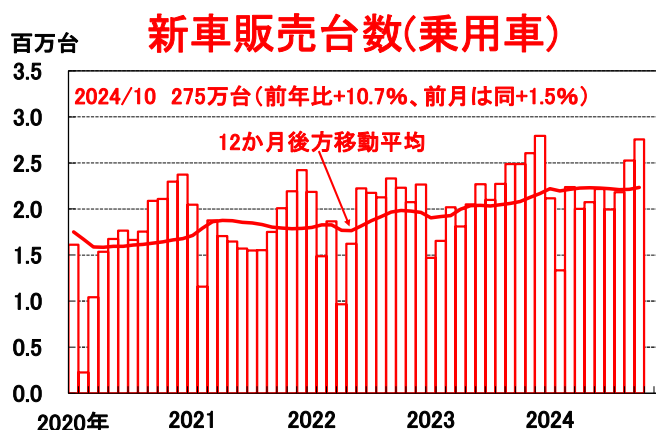
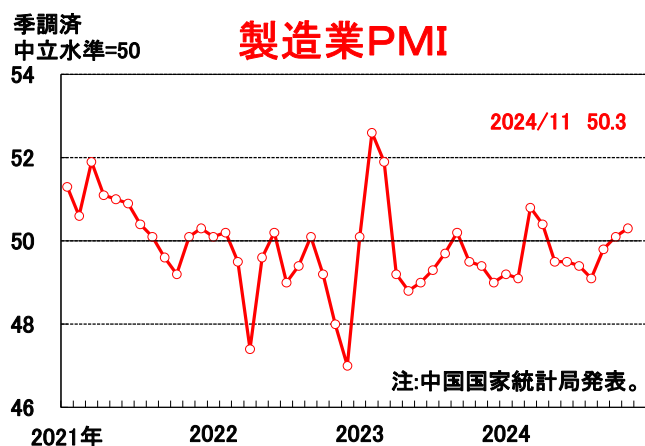
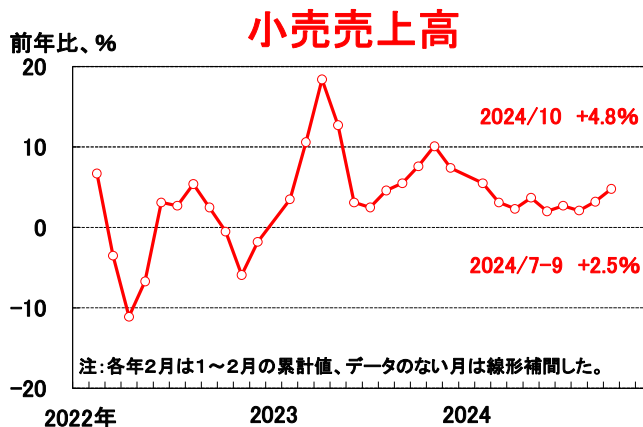
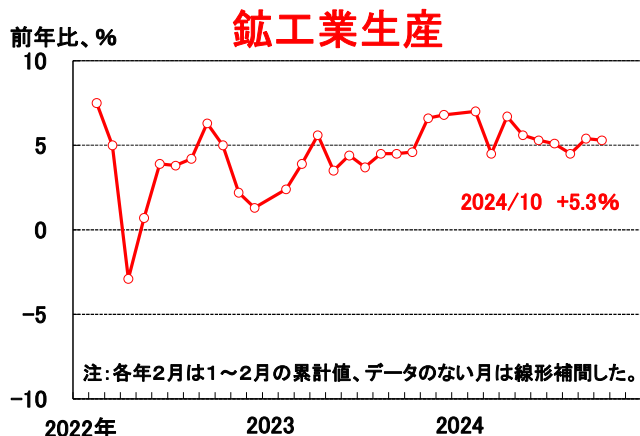
グラフで見る中国経済 2024年12月号(No. 187)

中国景気には底入れの動きがみられる。習体制による工業分野の設備更新への支援などを背景に、10月の固定資産投資は前年比+3.4%と7～9月期に比べて伸びが上向いた。各地方政府による自動車などの買い替え支援策の強化などから、同月の小売売上高も同+4.8%となり、伸びが7～9月を上回った。また、10～11月の輸出が堅調に増加しており、10月の鉱工業生産は同+5.3%と底堅く推移した。続く11月の製造業PMI(中立水準は50)は、新規受注の増加などから、50.3と3か月連続で上昇した。



(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。